

国際的な物流企業

Voltage SecureData は、エンタープライズグレードのデータ保護を提供し、機密データをあらゆる場面で永続的に保護します。

EOL(サポート終了)に伴う新しいデータセキュリティソリューションの検討
データ漏洩の頻度とコストが増加し、データ保護規制がさらに複雑になる中、同社のような未来を見据えた企業は、データセキュリティに対してプラットフォームアプローチを採用しています。使用中のソリューションについて当時のセキュリティパートナーがサポート終了(EOL)を発表したのは同社にとって良い機会となり、セキュリティに関する考え方を拡大し、利用するシステムとセキュリティのギャップをなくし、データとアプリケーションを安全な方法で接続することに繋がりました。しかしこれは「言うは易く行うは難し」で、最高情報セキュリティ責任者(CISO)は次のように説明して

「Voltage SecureData はオンプレミスとクラウドベースのアプリケーションの間を流れるデータを保護するように設計されているので、社内の他のリポジトリにある個人情報保護や、クラウドベースモデルへの移行など、多くの潜在的な利用例が考えられます」

Chief Information Security Officer
国際的な物流企業

います。「セキュリティソリューションは組織に深く根付いていて、それを切り替えるのは実に困難です。実際、3年近くかけて試みましたが、期待していた結果は得られませんでした。さまざまなオプションを徹底的に評価し、従来のソリューションを管理していた信頼できるシステムインテグレーションパートナーと協議した結果、Voltage SecureData なら、現在のデータセキュリティニーズに最も強力かつ柔軟に対応できて、将来のニーズに対しても最適なポジショニングが得られることが分かりました」

Voltage SecureData は、市場で主要な他の製品と共に評価を受けました。転送中、保存中、使用中のデータをフォーマット型トークンで保護し、分析やその他のビジネスプロセスでの参照整合性を維持できることが、検討チームの高い評価を得ました。しかし、大規模なデータセキュリティ移行プロジェクトは、単なる技術的な能力以上のものを必要とします。セキュリティプロセスは会社の根幹に関わるものであり、ソリューションが不適切であればビジネスに大きな支障をきたす可能性をチームは認識していました。CISO は次のように述べます。「Voltage SecureData がいくつかの世界的に著名な大手決済事業者で実証済みであることは、弊社にとって非常に重要でした。このプロジェクトは、信頼性が重要でした。システムイ



概要

業界

運輸

所在地

米国

課題

既存のツールを完全にリプレースし、最新のデータ保護ユースケースに対応できるデータセキュリティソリューションの導入

製品とサービス

Voltage SecureData

成功ポイント

- ・ 従来のソリューションからの大規模なトークン化への移行が12か月で完了
- ・ 現行のサービスパートナーと連携し、スムーズな移行を実現
- ・ 業界のデータ保護の規制に完全準拠
- ・ さらなるデータセキュリティの活用例に対応可能

「このプロジェクトでは、信頼性が重要でした。
システムインテグレーターである CyberRes と弊社のセキュリティチームとの知識に富んだパートナーシップにより、既存のプロセスを中断したりデータの整合性を損なうことなく、新しいセキュリティプラットフォームへの移行を成功させることができました」

Chief Information Security Officer
国際的な物流企業

お問い合わせ先: [CyberRes.com](https://www.cyberres.com)
ソーシャルメディアはこちら。



システムインテグレーターである CyberRes と弊社のセキュリティチームとの知識に富んだパートナーシップにより、既存のプロセスを中断したりデータの整合性を損なうことなく、新しいセキュリティプラットフォームへの移行を成功させることができました」

人材も仕事も流動的なものであり、データ形式やデータセットをどのように保護したかについてすべての「レシピ」を収めた「料理本」を作るよう顧客に案内するのが重要です。これにより、時間がたっても参照できる便利な説明書ができます。

効率的なチームワークによる Voltage SecureData へのスムーズな移行

システムインテグレーターチームは、CyberRes のプロフェッショナルサービスと緊密に連携してビジネス要件を明確にし、将来のニーズを予測しました。その後、新しい Voltage SecureData プラットフォームへの移行を共同で行いました。このプロセスは、Voltage SecureData のインターフェイスレイヤーのおかげで、複雑さが軽減され、お客様側での高度なコーディングスキルの必要性が減少されたため、容易になりました。データセントリックなアプローチや、すぐに使用できるセキュリティへのアプローチでメリットが得られた上、システムインテグレーターはシームレスな導入を実現するためのガイダンスとサポートをプロフェッショナルサービスから受けることができました。

物流のグローバル企業として、同社は多くのアプリケーションでフォーマット保持型トークンを使用して、クレジットカード情報と銀行口座番号を保護しています。定期的な支払いの場合、トークンは複数のアプ

リケーション内で常時保持され、トークンとクレジットカード情報の関係はセキュアに保存されます。こうして合計で数百万のクレジットカードと銀行口座が安全に管理されています。

将来を見据えたクラウド対応型エンタープライズ規模のデータセキュリティプラットフォーム

CISO は次のように述べます。「決済情報をトークン化することは、それ自体が大規模なプロジェクトでもありますが、社会保障番号、運転免許証番号、パスワードを例とする認証情報などの機密データをすべてアプリケーションレベルで保護するために数百のアプリケーションを暗号化することも検討しています。ライセンスの購入から、Voltage SecureData に移行し、業界規制に完全に準拠するまでにわずか1年しかかかりませんでした。ベンダーへの信頼は不可欠でした。CyberRes のプロフェッショナルサービスとシステムインテグレーターとのパートナーシップにより、あらゆる段階で安心感を得ることができました」

全社的なデータセキュリティプラットフォームとして Voltage SecureData が導入された今、チームは将来を見据えることができます。CISO は次のように締めくくります。「Voltage SecureData はオンプレミスとクラウドベースのアプリケーションの間を流れるデータを保護するように設計されているので、社内その他のリポジトリにある個人情報保護や、クラウドベースモデルへの移行など、多くの潜在的な利用例が考えられます。可能性は無限です。このパートナーシップを継続できることをうれしく思っています」

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
jp-info-enterprise@microfocus.com
www.microfocus-enterprise.co.jp